

**生物学的に効力がある血清エストラジオールは閉経後の乳がんの
放射線リスクを変化させるかもしれない：コホート内症例対照研究**

女性ホルモン（エストロゲン）は三種類のホルモンから成り立っています。そしてその一つである「エストラジオール」の量が多いと乳がんにかかりやすくなるということが、今まで知られていました。今回この研究から、放射線被ばくがエストラジオールを増加させ、乳がんのリスクを増加させる可能性があることが分かりました。しかし、今回の調査対象の症例数が 57 件と極めて小規模で、結果が不明瞭であったり他の研究で再現できない可能性もありますので、この結果については慎重に解釈していかなければなりません。

本資料は、専門家でない方向けに出来るだけわかりやすく解説することを最優先しています。そのため専門的な内容は割愛しており、論文内容を完全に再現しているものではありません。より詳しい内容は短文解説を、さらに詳しい内容は出版社の論文をご覧ください。